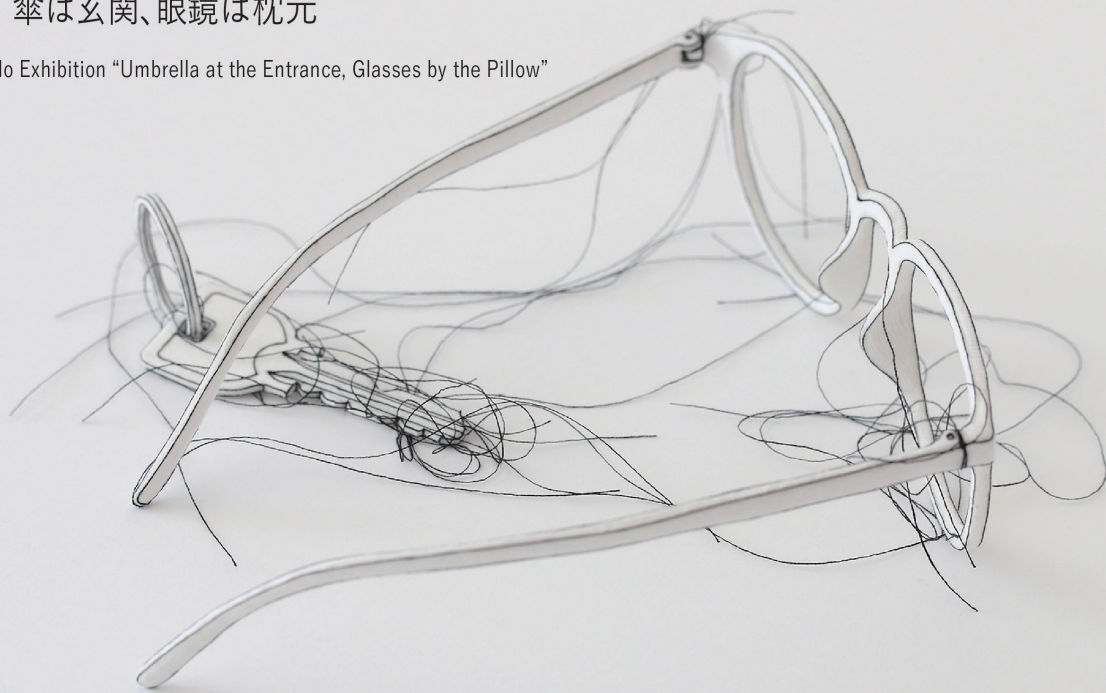


ユ ソラ 傘は玄関、眼鏡は枕元

Yu Sora Solo Exhibition “Umbrella at the Entrance, Glasses by the Pillow”



2025.11.15 Sat – 12.13 Sat

TEZUKAYAMA GALLERY | VIEWING ROOM

この度、TEZUKAYAMA GALLERYでは11月15日より初のユ・ソラ個展「傘は玄関、眼鏡は枕元」を開催いたします。

1987年韓国・京畿道に生まれたユ・ソラは、2011年に弘益大学彫塑科を卒業後、2020年に東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士課程を修了。現在は日本を拠点に活動しています。

ユ・ソラは、災害や事故などによって突然失われるかもしれない「日常」や「些細な時間」をテーマに、白い布に黒い糸で刺繍を施した立体・平面作品を制作しています。柔らかい布と繊細な縫い目によって形づくられる風景や日用品のイメージは、記憶の層に触れつつ、日常の在り方を考察する契機として提示されています。

ユ・ソラの作品は、紙や鉛筆ではなく、布と糸、ミシンを用いて制作されるドローイングと捉えることができます。鍵、椅子、ベッド、食器、部屋の風景など、日常的な物品や空間を題材に、それぞれの形や質感を通して時間や記憶、人の存在の痕跡を描き出していきます。柔らかな素材と繊細な縫製による表現は、対象が内包する感覚や印象を可視化する手法として用いられています。

本展のタイトルである「傘は玄関、眼鏡は枕元」は、日常の部屋に潜む「安心」と「不安」という二つの感覚に対するユ・ソラの関心を映し出しています。傘や眼鏡のように、生活の中で自然に寄り添うモノたちは、同時に私たちの不在や欠落を示唆しています。ユ・ソラが紡ぎ出す作品空間は、物理的な「家」と精神的な「居場所」が交錯する場であり、内と外、個と社会の関係を静かに浮かび上がらせます。

この機会にぜひ、ご高覧下さいませ。

[アーティスト・ステイトメント]

大学入学を機に家族と離れ、ソウルの古い半地下の部屋で一人暮らしを始めた。リサイクルショップで揃えた古い家電と小学生の頃から使い続けてきた机。20歳なりの悩みはあったけれど、夢と幸せが溢れる部屋だった。その部屋が好きで、そこに自分のことが好きで部屋の中を描き始めた。

居心地のよい部屋のかたちは人それぞれ。ベッドや椅子の上に物が積まれていても床がきれいなら落ち着く人もいれば、床には物があっても机の上は整っていないれば落ち着かないという人もいる。私が描く日常が主に「家の中」のものに限られているのは、自分にとって最も安心できる場所だと思ったから。夜遅く帰って朝早く仕事に出る人でも、家は人を受け入れ、緊張をほぐす空間である。気持ちがささくれたり、不安を抱えたりする日には、部屋の中も乱れてしまう。散らかった部屋を片付けると、少し心が落ち着くことがある。「安堵」と「安心」を形にすると、それぞれの人にとっての「部屋」になるのではないかと考えている。私はそんな「安心」である部屋を描き始めたが、いつからか「不安」を語っている。

人の命や日常が突然消えてしまうという出来事は、世界のどこかで、あるいはすぐそばで今も起きている。災害、事故、感染症、戦争——それらは人の力では抗えない。自分自身にも、いつ何が起こるかかわからないという恐れと不安は、ずっと胸の底に沈んでいる。子どもが生まれ、守りたい幸せが増えた分、恐れも倍になった。時々、ほんの小さなことでも不安は浮かんできて日常を揺らす。いつも同じ顔、同じ場所で自分を待っていると思った日常は、まるで紙でできた建物のように脆いものだった。

今は自分の部屋を描くより、どこにでもあるような部屋の風景を探している。誰もが自分の日常を重ねられるように、色を使わず、どこかの誰かが「いつもどおり」に繰り返していることについて考えた。傘は玄関、眼鏡は枕元に。くしゃくしゃのレシートや洗濯バサミが転がっていて、読まずに積み重ねた本の上にもものに乗っている。「みんな、同じだね」と、少し安心する一方で、部屋の輪郭を縁取る糸は、人が近づくとわずかに揺れ、もし間違えて引っ張ってしまえば、すべてが真っ白に消えてしまいそうな危うさも同時に宿している。人によって不安の大きさも、その感じ方も違って、この白い部屋の中で「安心」だけを見つける人もいる。

どうしても消えないものであれば、私はその不安と向き合い、目を合わせ、手を繋ごうと思う。不安と安心をうまく付き合わせようと思う。同じような不安を抱えて生きる人々と、少しでも分かり合えたらと。そんな思いで、白い部屋を作り続けている。

ユ・ソラ | Yu Sora

1987 韓国、京畿道生まれ
2011 弘益大学 (Hongik University, 韓国) 彫塑科 卒業
2020 京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士課程 修了

主な個展

2025 「傘は玄関、眼鏡は枕元」 | TEZUKAYAMA GALLERY 大阪
「転がるものたち、重なるものたち」 | TRUNK(HOTEL) CAT STREET 内 ROOM101 東京
「記憶された日ター기록 된 나날ー」 | WALL_shinjuku(ルミネ新宿 ルミネ2-2F) 東京
2024 「すいか、トマト」 | 銀座 蔦屋書店 FOAM CONTEMPORARY, 東京
2023 「もずく、たまご」 | 資生堂ギャラリー, 東京
2022 「BankART Under35」 | BankART KAIKO, 横浜
2021 「普通の日」 | あまらぶアートラボ A-labO,兵庫
「些細な記念日」 | ナムドンソレアートホール, 仁川
2018 「些細な記念日」 | Gallery Lotte, ソウル
2017 「引越し」 | YCC Gallery, 横浜
2014 「Do not miss the moment」 | Cy Art Space, ソウル
2013 「うまく散らかされた部屋」 | gallery41, ソウル

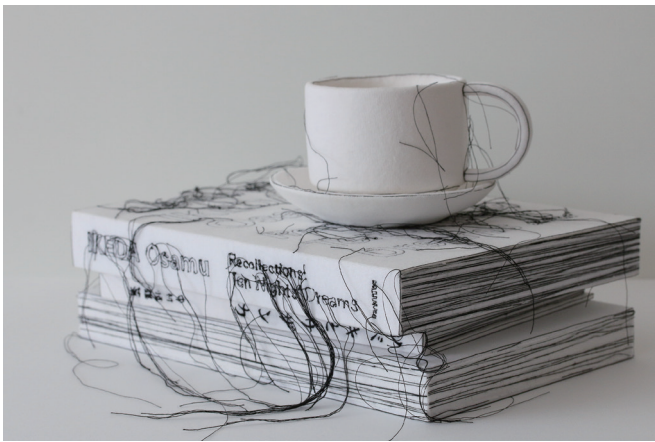
主なグループ展, アートフェア

2025 「Seesaws」 | WHAT CAFE 東京
「UN COLOR. 6 – Ways」 | Bunkamura Gallery 8 東京
ART OSAKA 2025-EXPANDED | クリエイティブセンター大阪 TEZUKAYAMA GALLERY 大阪
「スピードの物語」 | 瑞雲庵 京都
「恵比寿映像祭2025 地域連携プログラムーMy Own Journal わたしのジャーナル」 | CAL 東京
「Micro Salon ミクロサロン」 | CADAN有楽町 Space S, M, L 東京
「RE: FOCUS vol.6」 | TEZUKAYAMA GALLERY 大阪
2024 「THE BOOK」 | WALL_alternative 東京
「日常アップデート」 | 東京都渋谷公園通りギャラリー 東京
「ART NAKANOSHIMA 2024」 | 堂島リバーフォーラム 大阪
MEET YOUR ART FESTIVAL 2024「NEW ERA」 | 東京・天王洲運河一帯 東京
2023 「MEET YOUR ART FESTIVAL 2023」 | B&C HALL 東京
「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023」 | マリンメッセ福岡 福岡
2022 「cloth x over」 | あざみ野市民ギャラリー 横浜
2021 「崖と階段」 | azumagaoka articulation 横浜

受賞歴

2022 Sanwa company Art Award グランプリ
2020 第68回東京芸術大学修了作品展 杜賞
2018 Tokyo Midtown Award 2018 優秀賞

□ 作品 | Artworks



ART OSAKA 2025 Expanded Section - 展示風景 / 出展作品
Venue: クリエイティブセンター大阪 (名村造船所跡地)
Installation view: photo by Hyogo Mugyuda
Artworks: photo by YUSORA

□ 展覧会情報 | Exhibition Information

ユ・ソラ | Yu Sora

傘は玄関、眼鏡は枕元

2025.11.15 Sat - 12.13 Sat

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday
お問合せ: info@tezukayama-g.com / 劉 (TEZUKAYAMA GALLERY)

TEZUKAYAMA GALLERY

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F
Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN
t: +81 6 6534 3993 | e: info@tezukayama-g.com

